

科目名 (科目番号)	社会調査論	教員名 横山 博子	学科等	看護	選択	履修年次	3
	(時間割参照)		曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			授業形態	講義	オフィスアワー	第一・B322	
授業概要	社会調査とは、人々の意識や行動などの実態をとらえる一つの方法である。本講義では、社会調査の理論と方法を学習する。量的調査に重点を置き、これまで学んできた「医療統計学」及び「理学療法研究法」とリンクさせ、‘理屈で理解し、使える社会調査法’を目指す。						
目的・目標	1. 社会調査の意義と目的を理解する。 2. 社会調査における倫理や個人情報保護の重要性と具体的方法を理解する。 3. 量的調査の基本的な考え方と具体的方法を修得する。 4. 質問紙調査の技法を理解する。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	社会調査の意義と目的	到達目標： 社会調査とは何か、調査者が守るべき倫理内容を説明できる。 学習内容： 社会調査の意義、目的、調査倫理を学習する。				
	2	調査の流れと種類	到達目標： 質的調査、量的調査の違いを説明できる。 学習内容： 調査の設計から結果の解釈までの流れを学習する。				
	3	調査の設計	到達目標： 調査に値するテーマとは何か、仮説の導き方を説明できる。 学習内容： 社会調査の設計方法を学ぶ。				
	4	調査票作成の手順	到達目標： 質問文、選択肢、尺度が正しく作成できるようになる。 学習内容： 質問紙の作成方法と留意点を学習する。				
	5	サンプリング	到達目標： 種々のサンプリング方法と利点・欠点を説明できる。 学習内容： 標本調査とは何か、標本の選び方を学習する。				
	6	調査方法	到達目標： 様々な調査方法とその利点・欠点を理解し、適切な方法を選択できる。 学習内容： 調査方法を学習する。				
	7	データの集計	到達目標： 具体的な作業手順とその意味を理解する。 学習内容： 調査票からデータまでの流れを学習する。				
	8	質的調査	到達目標： 質的調査の目的、方法、結果の解釈を理解する。 学習内容： 質的調査の概要を学習する。				
成績評価の方法・基準	講義ごとの小テスト(30%) + 期末テスト(70%) (オンライン、対面ともに同様)						
教科書	資料を配布する						
参考図書	適宜指示する						
教員からのメッセージ	毎回の講義では、「前回の復習テスト」と「今日の復習テスト」を実施します。結果はコメントをつけてクラスルームに提示します。 オンライン授業にともない授業計画に変更がある場合は、クラスルームで変更のシラバスを周知いたします。						